

[省令第8条の4の5 (1,000トン以上排出事業者用)]

様式第2号の8(第8条の4の5関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画書

令和7年 6月 17日

(宛先) 長野市長

荻原 健司

提出者

住 所 長野市安茂里小市1-3-31

氏 名 高木建設株式会社

代表取締役社長 高木 亜矢子

(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 026-226-6061

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事 業 場 の 名 称	高木建設株式会社
事 業 場 の 所 在 地	長野市安茂里小市1-3-31
計 画 期 間	令和7年4月1日～令和8年3月31日

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

① 事 業 の 種 類	06 総合工事業
② 事 業 の 規 模	元請完成工事高 4,540,231 千円
③ 従 業 員 数	89名
④ 産業廃棄物の一連の処理工程	産業廃棄物の発生→収集運搬→中間処理（委託処理）→再資源化 産業廃棄物の発生→収集運搬→中間処理（委託処理）→最終処分 産業廃棄物の発生→収集運搬→最終処分

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項						
(管理体制図) 別紙のとおり						
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項						
①現状	【前年度（令和6年度）実績】 別紙のとおり					
	産業廃棄物の種類					
	排出量					
	産業廃棄物の種類					
	排出量					
	(これまでに実施した取組)					
②計画	【目標】 別紙のとおり					
	産業廃棄物の種類					
	排出量					
	産業廃棄物の種類					
	排出量					
	(今後実施する予定の取組)					
産業廃棄物の分別に関する事項						
①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)					
	・廃プラスチック類、紙くず、木くず、金属くず、廃石膏ボード、がれき類、石綿含有産業廃棄物等について産業廃棄物置場を設けて保管している。					
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)					
	・廃プラスチック類、紙くず、木くず、金属くず、廃石膏ボード、がれき類、石綿含有産業廃棄物等について産業廃棄物置場を設けて保管する。 ・分別保管について情報収集、教育研修					

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

【前年度（令和6年度）実績】						
①現状	産業廃棄物の種類	がれき類(コンクリート・陶磁器等)	ガラス・コンクリート・陶磁器等	廃プラスチック(廃タイヤ、発泡)	金属くず	紙くず
	排出量	2,148.58t	28.62t	68.45t	31.30t	28.14t
	産業廃棄物の種類	繊維くず	汚泥(上・下水、建設、その他)	建設混合廃棄物(安定型、管理)	石綿含有産業廃棄物	廃石綿等
	排出量	0.07t	7.53t	3.72t	10.64t	0.60t
	産業廃棄物の種類	水銀使用製品廃棄物	燃え殻	鉱さい		
	排出量	0.11t	0.17t			
【目標】						
②計画	産業廃棄物の種類	がれき類(コンクリート・陶磁器等)	ガラス・コンクリート・陶磁器等	廃プラスチック(廃タイヤ、発泡)	金属くず	紙くず
	排出量	2,000.00t	25.00t	60.00t	30.00t	25.00t
	産業廃棄物の種類	繊維くず	汚泥(上・下水、建設、その他)	建設混合廃棄物(安定型、管理)	石綿含有産業廃棄物	廃石綿等
	排出量		5.00t	3.00t	8.00t	
	産業廃棄物の種類	水銀使用製品廃棄物	燃え殻	鉱さい		
	排出量					

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

【前年度（令和 6 年度）実績】						
①現状	産業廃棄物の種類					
	自ら熱回収を行つた 産業廃棄物の量					
	自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量					
	産業廃棄物の種類					
	自ら熱回収を行つた 産業廃棄物の量					
	自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量					
	(これまでに実施した取組)					
	・特に実施していない。					
	【目標】					
	産業廃棄物の種類					
②計画	自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量					
	自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量					
	産業廃棄物の種類					
	自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量					
	自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量					
	(今後実施する予定の取組)					
	・実施の予定なし。					

(第4面 別紙)

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

【前年度(令和6年度)実績】

産業廃棄物の種類	がれき類(コンクリがら、廃アスファルト、レンガ)	ガラス・コンクリート・陶磁器くず(石膏ボード含)	廃プラスチック(廃タイヤ、発泡スチロール含)	金属くず	紙くず	木くず
全処理委託量	2,148.58t	28.62t	68.45t	31.30t	28.14t	165.26t
優良認定処理業者への処理委託量	71.19t	27.45t	68.44t	31.17t	28.14t	80.80t
再生利用業者への処理委託量	2,091.01t	17.85t	25.35t	31.30t	18.72t	115.27t
認定熱回収業者への処理委託量						
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者へ処理委託量			0.11t			17.31t
産業廃棄物の種類	繊維くず	汚泥(上・下水、建設、その他)	建設混合廃棄物(安定型、管理型)	石綿含有産業廃棄物	特定有害産業廃棄物	廃油
全処理委託量	0.07t	7.53t	3.72t	10.64t	0.60t	
優良認定処理業者への処理委託量	0.07t		3.12t		0.60t	
再生利用業者への処理委託量		7.53t				
認定熱回収業者への処理委託量						
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者へ処理委託量						
産業廃棄物の種類	水銀使用製品廃棄物	燃え殻	鉛さい			
全処理委託量	0.11t	0.17t				
優良認定処理業者への処理委託量		0.17t				
再生利用業者への処理委託量	0.11t					
認定熱回収業者への処理委託量						
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者へ処理委託量						

①現状

【目標】別紙のとおり

産業廃棄物の種類						
全処理委託量	2,000.00t	25.00t	60.00t	30.00t	25.00t	150.00t
優良認定処理業者への処理委託量						
再生利用業者への処理委託量						
認定熱回収業者への処理委託量						
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者へ処理委託量						
産業廃棄物の種類						
全処理委託量		5.00t	3.00t	8.00t		
優良認定処理業者への処理委託量						
再生利用業者への処理委託量						
認定熱回収業者への処理委託量						
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者へ処理委託量						
(今後実施する予定の取組)						
<ul style="list-style-type: none"> ・電子マニフェストの活用を進める。 ・優良認定処理業者への処理委託量を進める。 ・委託先の処理業者の現地確認を実施する。 						

※事務処理欄

【目標】						
産業廃棄物の種類	がれき類(コンクリガラス・コンクリート・陶磁器くず(石膏ボード)	ガラス・コンクリート・陶磁器くず(石膏ボード)	廃プラスチック(廃タイヤ、発泡スチロール含)	金属くず	紙くず	木くず
全処理委託量	2,000.00t	25.00t	60.00t	30.00t	25.00t	150.00t
優良認定処理業者への処理委託量	100.00t	25.00t	60.00t	30.00t	25.00t	150.00t
再生利用業者への処理委託量	2,000.00t	20.00t	30.00t	30.00t	25.00t	150.00t
認定熱回収業者への処理委託量						
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者へ処理委託量			1.00t			20.00t
産業廃棄物の種類	繊維くず	汚泥(上・下水、建設、その他)	建設混合廃棄物(安定型、管理型)	石綿含有産業廃棄物	特定有害産業廃棄物	廃油
全処理委託量		5.00t	3.00t	8.00t		
優良認定処理業者への処理委託量		5.00t	3.00t	8.00t		
再生利用業者への処理委託量		5.00t	3.00t	8.00t		
認定熱回収業者への処理委託量						
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者へ処理委託量						
産業廃棄物の種類	水銀使用製品廃棄物	燃え殻	鉛さい			
全処理委託量						
優良認定処理業者への処理委託量						
再生利用業者への処理委託量						
認定熱回収業者への処理委託量						
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者へ処理委託量						

②計画

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が12以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。
また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「—」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

産業廃棄物処理計画書（産業廃棄物の実績及び計画の量）

処理事項		産業廃棄物の種類(実績値・計画値)														合計	
		がれき 類(コン クリガ ル廢) 2.148.58t	ガラ ス・コ ンクリ ー 28.62t	廃プラ スチック (廃タ イヤ) 68.45t	金属く ず 31.30t	紙くず 28.14t	木くず 165.26t	繊維く ず 0.07t	汚泥 (上・下 水、建 設) 7.53t	建設混 合廃棄 物(安定 形) 3.72t	石綿含 有産業 廃棄物 (安定 形) 10.64t	廃石綿 等 0.60t	廃油 0.11t	水銀使 用製品 廃棄物 0.17t	燃え殻 2.493.19t		
排出抑制に関する事項		前年度排出量(実績)	2.148.58t	28.62t	68.45t	31.30t	28.14t	165.26t	0.07t	7.53t	3.72t	10.64t	0.60t			2,493.19t	
		本年度排出量(計画)	2.000.00t	25.00t	60.00t	30.00t	25.00t	150.00t		5.00t	3.00t	8.00t				2,306.00t	
自ら行う(行った) 再生利用に関する事項		前年度実績															
		本年度計画(目標)															
自ら行う (行った) 中間処理 に関する 事項	自ら行う (行った) 熱回収の量	前年度実績															
		本年度計画(目標)															
	自ら中間処理 により減量 する(した)量	前年度実績															
		本年度計画(目標)															
自ら行う(行った)埋立 処分又は海洋投入処分 に関する事項		前年度実績															
		本年度計画(目標)															
処理の委託 に関する事項	全処理委託量	前年度実績	2.148.58t	28.62t	68.45t	31.30t	28.14t	165.26t	0.07t	7.53t	3.72t	10.64t	0.60t		0.11t	0.17t	2,493.19t
		本年度計画(目標)	2.000.00t	25.00t	60.00t	30.00t	25.00t	150.00t		5.00t	3.00t	8.00t					2,306.00t
	優良認定処理業者 への処理委託量	前年度実績	71.19t	27.45t	68.44t	31.17t	28.14t	80.80t	0.07t		3.12t		0.60t		0.17t		311.15t
		本年度計画(目標)	100.00t	25.00t	60.00t	30.00t	25.00t	150.00t		5.00t	3.00t	8.00t					406.00t
	再生利用業者 への処理委託量	前年度実績	2,091.01t	17.85t	25.35t	31.30t	18.72t	115.27t		7.53t				0.11t			2,307.14t
		本年度計画(目標)	2,000.00t	20.00t	30.00t	30.00t	25.00t	150.00t		5.00t	3.00t	8.00t					2,271.00t
	認定熱回収業者 への処理委託量	前年度実績															
		本年度計画(目標)															
	認定熱回収業者以外 の熱回収を行なう業者 への処理委託量	前年度実績			0.11t			17.31t									17.42t
		本年度計画(目標)			1.00t			20.00t									21.00t

【記載方法】

- 各産業廃棄物の種類ごとに該当の箇所の上段に前年度の実績(現状)を、下段に本年度の目標(計画)の産業廃棄物の量を記載
- 「自ら行う再生利用に関する事項」の欄は、自ら直接再生利用した量と中間処理した後再生利用した量を記載してください。
- 「自ら行う埋立処分又は海洋投入処分に関する事項」は、自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量と自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量を記載してください。
- 「処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量及びそれぞれの内訳を記載してください。